



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月30日

上場会社名 SCSK株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9719 URL http://www.scsk.jp
 代表者 (役職名)代表取締役会長 兼 CEO (氏名)中井戸 信英
 問合せ先責任者 (役職名)経理グループ長 兼 主計部長 (氏名)岡 恭彦 (TEL)03(5166)2500
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	205,914	2.2	15,000	7.5	16,320	7.8	12,365	△15.5
25年3月期第3四半期	201,400	61.6	13,949	140.9	15,145	74.4	14,634	△32.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 13,317百万円(△9.7%) 25年3月期第3四半期 14,741百万円(△29.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	119.22	116.58
25年3月期第3四半期	141.17	137.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	303,691	117,564	36.9	1,080.60
25年3月期	322,828	108,208	31.8	991.48

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 112,100百万円 25年3月期 102,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
26年3月期	—	20.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	290,000	4.1	23,500	13.0	23,500	5.7	17,500	4.6	168.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	107,986,403株	25年3月期	107,986,403株
26年3月期3Q	4,247,581株	25年3月期	4,303,745株
26年3月期3Q	103,724,727株	25年3月期3Q	103,663,372株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、平成26年1月30日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催いたします。この説明会で配布した資料、主なQ&A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・中央銀行の各種財政・金融政策の発動を機に、株式市場が活況を呈するとともに企業の景況感も改善し、全般的に回復傾向にありました。個人消費及び住宅投資は、雇用環境の改善に加えて消費増税前の駆け込み需要もあり、堅調に推移しました。また、設備投資についても、円高修正を背景にした企業業績の改善に伴い、近時持ち直し傾向を見せております。

わが国経済の先行きについては、消費増税前の駆け込み需要の反動減、一部の新興国での経済成長の鈍化等不確実な海外経済、さらには、近隣諸国との政治外交問題の経済への影響といった懸念材料はあるものの、内需の底堅い推移と輸出の持ち直しを背景に、緩やかな回復傾向が続くものと考えられます。

このような経済情勢の下、当社グループを取り巻く事業環境は、近年抑制・先送りが続いてきた顧客企業のIT投資に回復傾向が見られ、システム開発案件を中心に投資需要は堅調に推移しました。

金融業においては、銀行・保険業を中心に経営統合を巡る大型のIT投資が引き続き堅調に推移するとともに、金融業全般でのシステム更新投資が拡大基調にありました。

また、製造業においても生産・販売活動の強化やグローバル化対応等、顧客企業の戦略的なIT投資需要が顕在化してきており、今後製造業顧客の業績回復に伴いIT投資の本格化が期待される状況です。

併せて、一層の業務効率化・生産性向上を目的とする各種クラウド型ITサービスの需要が拡大しており、また、BCP(事業継続計画)・ディザスターリカバリー(災害復旧)対策を中心にしたデータセンターの利用ニーズも拡大基調を続けております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、金融業等におけるシステム開発事業が堅調に推移し、前年同期比2.2%増の205,914百万円となりました。営業利益は、増収に伴う増益並びに業務効率化に伴う利益率向上等により、前年同期比7.5%増の15,000百万円となりました。経常利益は、営業増益により、前年同期比7.8%増の16,320百万円、また、四半期純利益は、期初より見込んでおりました事業ポートフォリオ見直しに係る一時的な費用の計上等があり、前年同期比15.5%減の12,365百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ15,461百万円減少し、67,786百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は21,811百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益14,295百万円、減価償却費5,122百万円、売上債権の減少による資金の増加11,096百万円によるものであります。主な減少要因は、たな卸資産の増加による資金の減少4,319百万円、仕入債務の減少による資金の減少4,207百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は6,447百万円となりました。

主な増加要因は、投資有価証券の売却851百万円によるものであります。主な減少要因は、有形固定資産の取得5,935百万円、無形固定資産の取得1,176百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は30,908百万円となりました。

主な増加要因は、短期借入金の新規借入による資金の増加17,000百万円によるものであります。主な減少要因は、社債の償還による資金の減少35,000百万円、長期借入金の返済による資金の減少7,500百万円、平成25年3月期期末配当金(1株当たり18円)1,870百万円及び平成26年3月期中間配当金(1株当たり20円)2,079百万円の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期の業績は概ね予想の範囲内であり、平成25年4月26日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。

※当社グループの四半期業績の特性について

わが国では、事業年度を4月から3月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である9月及び3月に集中する傾向があります。このため、請負契約を除く売上高計上基準として、主として「検収基準」を採用している当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第2・4四半期に集中する傾向があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,669	20,351
受取手形及び売掛金	61,661	50,618
有価証券	1,298	901
営業投資有価証券	37,326	40,363
商品及び製品	2,793	4,569
仕掛品	646	3,196
原材料及び貯蔵品	21	29
短期貸付金	106	53
預け金	64,478	48,734
その他	20,718	24,491
貸倒引当金	△101	△28
流動資産合計	208,620	193,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,684	25,659
土地	22,118	22,135
その他(純額)	7,420	11,230
有形固定資産合計	56,223	59,025
無形固定資産		
のれん	343	271
その他	7,346	6,847
無形固定資産合計	7,690	7,119
投資その他の資産		
投資有価証券	11,428	11,267
その他	39,163	33,257
貸倒引当金	△298	△260
投資その他の資産合計	50,294	44,265
固定資産合計	114,208	110,411
資産合計	322,828	303,691

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,568	13,382
短期借入金	—	17,000
1年内償還予定の新株予約権付社債	35,000	—
1年内返済予定の長期借入金	9,860	2,360
未払法人税等	777	1,083
賞与引当金	7,546	3,698
役員賞与引当金	110	58
工事損失引当金	12	628
カード預り金	64,414	68,419
その他	24,585	31,204
流動負債合計	159,876	137,835
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	20,000	20,000
退職給付引当金	7,697	2,089
役員退職慰労引当金	29	29
資産除去債務	1,391	1,492
その他	5,625	4,678
固定負債合計	54,743	48,290
負債合計	214,619	186,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,152	21,152
資本剰余金	3,066	3,063
利益剰余金	86,735	95,154
自己株式	△8,654	△8,540
株主資本合計	102,300	110,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	957	1,367
繰延ヘッジ損益	8	72
為替換算調整勘定	△468	△171
その他の包括利益累計額合計	498	1,268
新株予約権	168	147
少数株主持分	5,241	5,317
純資産合計	108,208	117,564
負債純資産合計	322,828	303,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	201,400	205,914
売上原価	154,940	157,605
売上総利益	46,460	48,308
販売費及び一般管理費	32,511	33,307
営業利益	13,949	15,000
営業外収益		
受取利息	165	173
受取配当金	286	44
持分法による投資利益	209	202
投資有価証券売却益	10	268
投資事業組合運用益	379	198
カード退蔵益	881	823
その他	372	303
営業外収益合計	2,304	2,013
営業外費用		
支払利息	315	262
投資有価証券評価損	80	44
為替差損	37	43
退職給付費用	195	195
資金調達費用	218	—
その他	262	148
営業外費用合計	1,108	694
経常利益	15,145	16,320
特別利益		
固定資産売却益	5	4
投資有価証券売却益	96	3
関係会社株式売却益	6	0
会員権売却益	0	12
特別利益合計	109	21
特別損失		
固定資産除却損	50	56
固定資産売却損	0	25
会員権売却損	1	—
会員権評価損	23	—
投資有価証券売却損	0	—
関係会社株式評価損	—	757
子会社整理損	—	89
事業撤退損失	—	377
移転関連費用	—	739
特別損失合計	76	2,045
税金等調整前四半期純利益	15,178	14,295
法人税、住民税及び事業税	964	1,327
法人税等調整額	△595	428
法人税等合計	368	1,756
少数株主損益調整前四半期純利益	14,810	12,539
少数株主利益	175	173
四半期純利益	14,634	12,365

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,810	12,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△187	374
繰延ヘッジ損益	38	63
為替換算調整勘定	69	292
持分変動差額	7	5
持分法適用会社に対する持分相当額	3	42
その他の包括利益合計	△68	777
四半期包括利益	14,741	13,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,563	13,139
少数株主に係る四半期包括利益	178	178

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,178	14,295
減価償却費	4,956	5,122
のれん償却額	82	72
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△48	△112
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	711	△96
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△224	△169
固定資産除却損	50	56
固定資産売却損益 (△は益)	△5	21
投資有価証券評価損益 (△は益)	80	44
投資有価証券売却損益 (△は益)	△99	△271
関係会社株式評価損	—	757
関係会社株式売却損益 (△は益)	△6	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△209	△202
株式報酬費用	1	—
受取利息及び受取配当金	△452	△218
支払利息及び社債利息	315	262
投資事業組合運用損益 (△は益)	△379	△198
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△1,921	△3,141
売上債権の増減額 (△は増加)	5,288	11,096
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,301	△4,319
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,281	△4,207
カード預り金の増減額 (△は減少)	3,637	4,004
役員賞与の支払額	△65	△123
その他	△7,868	△247
小計	15,440	22,425
利息及び配当金の受取額	564	448
利息の支払額	△280	△264
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	183	△798
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,908	21,811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,299	△2,599
有価証券の売却及び償還による収入	3,600	2,728
有形固定資産の取得による支出	△7,932	△5,935
有形固定資産の売却による収入	1	6
無形固定資産の取得による支出	△1,879	△1,176
投資有価証券の取得による支出	△198	△993
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,207	851
短期貸付金の回収による収入	1,357	102
投資事業組合出資金の払戻による収入	569	471
敷金及び保証金の差入による支出	△85	△428
敷金及び保証金の回収による収入	93	514
資産除去債務の履行による支出	—	△14
その他	249	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,316	△6,447

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	17,000
長期借入れによる収入	20,000	—
長期借入金の返済による支出	△7,500	△7,500
社債の発行による収入	10,000	—
社債の償還による支出	—	△35,000
リース債務の返済による支出	△1,348	△1,435
自己株式の取得による支出	△30,081	△20
自己株式の売却による収入	1	98
配当金の支払額	△3,532	△3,949
少数株主への配当金の支払額	△83	△101
その他	2	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,542	△30,908
現金及び現金同等物に係る換算差額	46	229
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,904	△15,315
現金及び現金同等物の期首残高	63,661	83,247
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△15	△146
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,742	67,786

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	産業システム	金融システム	グローバル システム	ソリューション	ビジネス サービス	IT マネジメント	プラット フォーム ソリューション	プリペイド カード
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	51,942	37,358	8,542	11,175	23,192	26,240	39,765	2,572
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,901	175	1,175	1,122	1,016	5,839	3,822	109
計	53,843	37,534	9,717	12,298	24,209	32,080	43,588	2,681
セグメント利益	3,415	3,094	1,400	1,303	690	2,089	2,019	573

	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高				
(1) 外部顧客への 売上高	610	201,400	—	201,400
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,000	17,162	△17,162	—
計	2,610	218,563	△17,162	201,400
セグメント利益	205	14,792	△842	13,949

(注) 1 セグメント利益の調整額△842百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	産業システム	金融システム	グローバルシステム	ソリューション	ビジネスサービス	ITマネジメント	プラットフォームソリューション	プリペイドカード
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	50,048	40,490	10,056	11,957	23,747	27,537	39,229	2,259
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,317	272	1,770	1,374	1,172	6,770	4,536	72
計	51,365	40,762	11,827	13,332	24,920	34,307	43,766	2,331
セグメント利益	3,064	3,897	1,433	1,169	1,183	2,481	2,236	123

	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	586	205,914	—	205,914
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,991	19,277	△19,277	—
計	2,578	225,191	△19,277	205,914
セグメント利益	153	15,743	△742	15,000

(注) 1 セグメント利益の調整額△742百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成23年10月1日付の(株)CSKとの合併以降、合併効果を迅速かつ最大限に発揮すべく、経営体制の融合・統合を実施してまいりました。さらに第1四半期連結会計期間より経営体制の完全融合を目的に、事業本部を業種別・機能別へ再編したことにより、報告セグメントの区分方法を一部変更しております。また、この変更に伴い、「ソリューション・機能」から「ソリューション」へ報告セグメントの名称を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額を表示しております。